

工事費等積算内訳書

作成例

会社名株式会社 米原工務店

氏名代表取締役 米原 太郎

この欄の記名が、入札書と一致しないときは無効となります。

工事番号令和〇〇年度 第〇〇号

工事名〇〇〇〇〇〇〇〇工事

工事場所滋賀県米原市〇〇地先

発注者側で記載

費目	数量	単位	単価	金額	備考
○直接工事費(A) ①+②=A	1	式	—	8,000,000円	
①直接工事費	1	式	—	7,000,000円	直接工事費の計を記入してください。この欄の記入がないと無効となります。
(内訳)仮設工事	1	式	—	2,000,000円	
掘削工事	1	式	—	2,000,000円	
基礎工事	1	式	—	1,000,000円	
.....				.	各項目ごとに一式計上してください。
.....				.	
.....				.	
1. 計算に間違いがないこと。 2. 必要な経費は計上のこと。 3. 工事価格が入札書記載金額と合致のこと。 4. 入札書と同時に提出のこと。 5. 値引き等の項目は付け加えないこと。					計算に誤りがあると無効となります。
②共通仮設費(積上分)	1	式	—	1,000,000円	
○間接工事費(B) ③+④+⑤=B	1	式	—	3,000,000円	
③共通仮設費(率計上分)	1	式	—	1,000,000円	必要な経費を計上してください。
④現場管理費	1	式	—	1,200,000円	必要な経費を計上してください。
⑤一般管理費	1	式	—	800,000円	必ず予定価格を超えると失格です。
○工事価格(C) A+B=C	1	式	—	11,000,000円	入札書記載金額と合致のこと。

(注)上記の無効条件以外に、工事費等内訳書の工事価格と入札書記載金額が一致しない場合や工事費等内訳書の積算内容が適当でない場合は無効となります。

※以下の確認欄は、米原市の担当課が記入します。

担当者職・氏名

確認欄

担当課職員が記入するため、何も記載しないこと。

※確認の際は、赤鉛筆・赤ボールペンでチェックすること。